

大阪府
人事委員会

不当な給料月額引下げ勧告

配偶者扶養手当も改悪 一時金は3年連続引上げ

府障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

【報告および勧告のポイント】

月例給

本年4月分の職員給与は、民間を1075円(0.28%)上回っている。この較差を踏まえ、給料表に定める給料月額を引下げ。

行政職給料表:一律0.3%引下げを基本
(平均改定率マイナス0.2%)

初任給~20代前半は引下げなし。20代後半は、0.1~0.2%引下げ

その他の給料表:行政職給料表との均衡を基本に改定。

再任用職員:一律0.3%引下げ。

特別給(ボーナス)

0.1月分引上げ。(年間4.20月分
4.30月分)

民間の状況を踏まえ勤勉手当に配分。

改定時期

2016年4月1日に遡って改定。ただし、月例給については、2017年4月1日から改定。

扶養手当を国に準じて見直し

手当額

配偶者に係る手当額を引下げ。

2016年(1万3千800円) 2017年
(1万円) 2018年(6千500円)

行政職6級以上:2019年(3千500円)

行政職7・8級以上:2020年(非支給)

子どもに係る手当額を引上げ。

2016年(6千500円)

2017年(8千円) 2018年(1万円)

改定時期

国に準じて2017年4月1日から段階実施。

10月17日、大阪府人事委員会は、府職員の給与等に関する勧告等を行い、府職員の給料月額が民間に比べて1075円(0.28%)上回っているとして、給料表に定める給料月額を来年4月から引下げるとしています。一時金(ボーナス)については0.1月引上げて年間支給月数4.3月とし、今年4月にさかのぼって実施するよう勧告しています。

扶養手当については、子どもに係る扶養手当を引上げる一方で、配偶者に係る手当の引下げを来年4月から段階的に実施するよう勧告しました。

民間との比較方法を 意図的に見直し

今回の勧告で府人事委員会は、「役職の対応関係見直し」と称して、府職員と民間との賃金比較方法を変更しました。府職員の役職と比較対象にする民間企業の役職を「これまでより一段階賃金の低い層に対して行ったのです。これでは、当然民間の方が低いと判断されます。昨年と同じ方法で比較すれば、民間の方が8024円高いと試算されており、意図的に府職員・教職員の賃金を引下げようとしているのではないかと思えません。」

「見直し」の理由について府人事委員会は、「これまで基本的に国...」
しかし、府人事委員会は大阪府当局が勧告を完全に実施してこなかったことを批判し、「厳しい財政下においても、予算上適切に措置される必要がある」と述べざるを得ませんでした。長時間の時間外勤務についても、過労死ラインを超える時間外勤務者が多数かつ漸増の傾向にある状況をもはや放置することは許されないと指摘しました。
府障教は、府労組連大阪府関連労働組合連合会に結集し、要求の前進のために全力をあげます。教職員の皆さんには、府労組連の要求署名に、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

民間との比較方法を意図的に見直し
今回の勧告で府人事委員会は、「役職の対応関係見直し」と称して、府職員と民間との賃金比較方法を変更しました。府職員の役職と比較対象にする民間企業の役職を「これまでより一段階賃金の低い層に対して行ったのです。これでは、当然民間の方が低いと判断されます。昨年と同じ方法で比較すれば、民間の方が8024円高いと試算されており、意図的に府職員・教職員の賃金を引下げようとしているのではないかと思えません。」

のガイドラインに沿って設定してきた「比較する役職のあり方など、国会や府議会において種々議論がなされている」と説明しました。このことは、今回の「見直し」が維新勢力等議会の圧力に影響されたものであることを示しています。

配偶者扶養手当改悪、非常勤職員の実態放置

扶養手当については、国の勧告に追随し、子の扶養手当の増額を勧告する一方で、配偶者の扶養手当を段階的に削減するよう勧告しました。この背景には、家庭を支える女性の多くを、安上がりの労働力として活用しようとする財界・政府の意向が反映されています。

非常勤職員については、国、他の都道府県の動向などにも留意しつつより一層適正な勤務労働条件の確保に努め」と述べるにとどまり、賃上げや待遇改善につながる具体的な勧告はありませんでした。
府当局の勧告不実施を厳しく批判

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/>

Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



今の国会で最大の焦点として位置づけられているのが、環太平洋連携協定(TPP)の承認案と関連法案です。しかし、協定資料の誤訳輸入米の価格偽装疑惑に始まり、ついには農林水産大臣の、強行採決暴言まで飛び出すなど、TPPからは次々と問題が噴出していきます。

日本は国内で1年間に消費される食糧の全カロリー量のうち、約6割を輸入食品に依存しており、食料自給率向上は重要な課題です。TPPで関税が撤廃・削減されれば、ますます食料自給率が下がるでしょう。また、食品衛生監視員はわずか408人で、2016年度は2人しか増員されていません。そのため、輸入食品の91.3%は無検査の状態です。食品検査にあたっては、例えば冷凍肉の破砕などの手作業が欠かせません。輸入食品の増加が見込まれる中、人が増えない検査現場からは、TPPが怖い」という声が多く上がっています。

また、輸入食料品は検査結果が出る前に国内流通させることが認められているため、「違反の結果が出た時には、全量が消費されたり、販売されたりしているケースがいくつもあります。中には、基準の2.6倍を超える残留農薬が検出された「生鮮おくら」が、すでに消費されていた事例もあります。

国会で追及された安倍首相は、ただちに健康被害が発生する可能性は低いなどと、無責任な答弁を繰り返しています。そもそも自民党は6月の参院選の公約に、「TPP早期批准」を掲げず、選挙の後で突然言い出しました。国民に信も問わず、今以上に食の安全を脅かすTPPを早期批准するなど、絶対に許せません。

教育のつどい大阪 2016全体会

あたりまえの教育を 語り合える仲間を持つ

10月15日「教育のつどいおおさか2016」の全体会が、貝塚市民文化会館(コスモシアター)を会場に開催されました。府内各地から教職員・父母など約200人が参加し、府障教からも受付等の要員も含めて8人が参加しました。

また勝野さんは、「こうした政治介入、道徳教育の強化などをすすめる安倍教育再生は、教育の危機を増幅させると述べました。

勝野さんの「あたりまえの教育を語る言葉と、語り合える仲間を持つことが大事だ」というお話を聞いて、学ぶこと、仲間を増やすことが大切だと再確認できたと思います。

子どもと教育・憲法を守る府民的共同を

全体会は、歓迎行事として、青年教職員による、南中ソーランと、岸和田市中心的の市民でつくる、ピースウエーブコンサート合唱団の「ぞうれっしやがやってきた」の合唱で開会しました。青年たちが踊る、南中ソーランは力強く、未来の希望を感じるもので、管楽器の入った合唱も聞き応えがありました。

開会あいさつを行った大阪教職員組合の田中康寛委員長は、軍国主義教育の復活を狙う安倍「教育再生」と、維新による教育破壊を厳しく批判しました。その上で、「子どもと教育・憲法を守る府民的共同を広げていきたいと思います。参加者に呼びかけました。」



全体会の歓迎行事

続いて、勝野正章さん(東京大学大学院教授)が、「今こそ、当たり前の教育・子育てを、安倍教育再生のねらいと私たちが大切にしたいこと」と題して講演しました。勝野さん

安倍「教育再生」は教育の危機を増幅

絵本の世界を子どもと楽しもう

子どもがもっと好きになる連続学習会「大障教(市障教・府障教)主催

9月9日、アネックスバル法円坂において、2016年度大障教市障教・府障教主催の「子どもがもっと好きになる連続学習会」が行われました。今回は、絵本の世界を子どもと楽しもうと題し、鈴木健司さん(大阪東こどもとも社)を講師に迎え、絵本の世界の楽しさや奥深さを学びました。府障教の9職場より31人、市障教の6職場より22人、全体では53人が参加しました。

講師の鈴木さんは笑顔絶えず、そしてとてもソフトな語り口で絵本の魅力を話してくださいました。1つ目を「正しいきつちりした読み聞かせ」とするならば、自分は2つ目の「ワイワイガヤガヤの読み聞かせ」を大切にしたいと

最初に語られたのが、とても印象的でした。鈴木さんは読み聞かせのコツとして、参加導入リズム遊び、この4つの観点を挙げ、それぞれについて絵

本を読みながら具体的に説明していききました。こうした工夫によって、子どもたちの中に「絵本を読む準備」ができてくることでした。また鈴木さんは、集まった子どもたちの中に、例えば日本語が理解できない外国の子どもや、視覚や聴覚に障害のある子どもがいたとしても、決して排除するような形での読み聞かせはしたくないと述べました。その上で、子どもたち一人ひとりを大切にすると

めに、みんな一緒に読める本「言葉なしで読める本」などを紹介していただき、絵本が持つ素晴らしさを語りました。参加者は、絵本を読む鈴木さんの心地よい声の響きに引き込まれ、また一緒に参加して読んだり体を動かしたりすることで、どんどん絵本の世界にのめりこんでいくようでした。

会場にはたくさんのお絵本が並べられ、講演後もたくさん参加者が魅力的な絵本を手にとり、目を輝かせていたのが印象的でした。(情宣部 鈴木浩司)



講師の鈴木健司さん

「教育のつどい大阪2016」今後の予定

- 教科別分科会: 11月5日(土)9時30分(開場9時)
 泉佐野市立中央小学校 国語教育/外国語教育/社会科教育/算数・数学教育/理科教育/美術教育/音楽教育/技術・職業教育/家庭科教育/体育・健康・食教育/生活指導
- 教育シンポジウム: 11月13日(日)14時(会場13時30分)
 岸和田市立波切ホール 交流ホール
 これでいいのか大阪の教育 子どもすこやかな成長を力をあわせて
- 問題別分科会: 11月27日(日)9時30分(開場9時)
 岸和田市立北中学校 発達・評価/障害児教育/幼年期/思春期・青年の進路/人権・男女平等/平和・国際/民主的学校づくり/父母・地域住民との共同/教育条件/環境・公害/文化創造/教育課程/生活科/総合学習/登校拒否・不登校